

注) 第5回審議会資料の施策の柱(4)

「新しい文化芸術の創造に関すること」は2.3.5.に吸収

施策の体系案

目標

基本方針

施策の柱

基本施策

1. 市民の文化活動の活性化

～市民の主体的な文化活動を支援し、すべての市民が文化とふれあい、親しめるように～

1-① 市民の文化活動を促進する環境づくり

○市民の文化芸術活動への参加を促進し、活動を活発化するような体制づくりに努めます。
○市内の文化団体の活動・交流支援を推進します。

1-② 市民の活動状況の把握と情報提供

○市民の文化芸術活動の状況を把握し、多様な情報提供の充実に努めます。

2. 嬉野独自の文化の継承・担い手の育成

～市民が嬉野独自の文化に誇りを持ち、文化財や伝統文化を継承し、担い手が育つように～

2-①文化財・伝統文化の保存・継承

○伝統文化・歴史遺産の適切な維持・保存に努めます。
○本市独自の文化活動と伝統文化・歴史遺産の周知・啓発をはかります。

2-②独自の文化・芸術の担い手育成

○本市独自の文化活動の支援を行い、後継者の育成に力を入れます。
○芸術家が継続的に活動できる環境づくりを進めます。

3. 子どもたちの文化創造活動の拡充

～地域、学校における文化活動や学びの場を通じて、子どもたちの創造力が育まれるように～

3-①子どもたちの文化創造活動や学びの場の充実

○子どもたちが伝統文化や文化芸術に身近に触れる機会を増やし、
○学校の文化芸術活動を地域全体で支援します。

3-②子どもたちが地域文化とふれる機会の充実

○親子で文化体験活動に参加する機会を充実させます。
○地域のコミュニティにおいて、多世代との交流を通じ、子どもたちが、地域の文化について学んだりふれたりする機会を充実させます。

4. 市民が文化芸術にふれる機会の充実

～文化活動の拠点施設の事業の充実により、文化・芸術とのふれあいがあるまちへ～

4-①嬉野市社会文化会館多様なジャンルの鑑賞機会の充実

○多様な文化・芸術の鑑賞機会を提供します。
○嬉野市社会文化会館における市内公共施設において、各種講座やワークショップ事業の充実をはかります。

4-②体験や参加、参画機会の充実

○既存の文化施設を活用し、新たな活動の場の拡大に取り組み、あらゆる人が多様な文化芸術を気軽に楽しめる環境づくりに努め
○文化ボランティアなど、文化芸術を担う人材の育成を促進します。

5. 文化資源を活かした地域魅力の創造・発信

～観光・産業と連動した文化交流活動が地域の魅力を磨き、発信するまちへ～

5-①文化資源を活用した嬉野の魅力発信

○市民が主体となり、市内文化資源の再確認を行い、そのプロセスを通じて地域魅力の共有をはかります。

5-②文化イベント等を通じた観光、国際交流

○市内の文化資源を活用した文化イベント等を促進し、観光と交流のさらなる発展を目指します。
○地域魅力を活かした国際交流を推進します。

6. 文化振興のための仕組み・連携の強化

～文化の力で人や地域がつながり、地域や世代を超えて様々な交流が生まれるまちへ～

①コミュニティを核とした連携と交流機会の充実

○文化芸術活動を通して、市民の交流の場を広げ、相互理解や連携を促進します。
○企業や学校との交流や、近隣自治体との連携を促進し、それぞれの持つ資源や知識を文化芸術振興に活かします。

②様々な分野や人材をつなぐ取り組みの推進

○福祉や教育分野などと連携し、アウトリーチ事業などを通じて、日頃文化芸術にふれる機会の少ない人へアプローチします。
○様々な取り組みを通じて、文化のまちづくりの担い手を発掘、育成します。

嬉野ならではの文化の力を活かす

……のまちの実現

1. 市民の文化活動の活性化

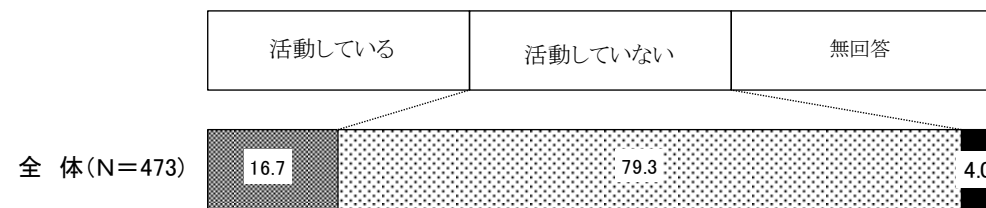
～市民の主体的な文化活動を支援し、すべての市民が文化とふれあい、親しめるように～

【現状・課題】

- 年間を通じて、いつ、どこでどのようなイベントが行われているのかということを知ってもらおう工夫、PRが大切。
- 参加する人たちを一人でも多く増やすように働きかけることが必要。
- 地域コミュニティと文化団体の連携不足が課題。
- 文化団体会員の高齢化により、十分な活動がなされていない。文化祭時の準備、設営が難しい。そのため、作品が少なくなっている。

●一般市民アンケートより

日頃、継続的な文化・芸術活動を行っている人：16.7%と1割台



【基本的施策の方向性】

1-①市民の文化活動を促進する環境づくり

- 市民の文化芸術活動への参加を促進し、活動を活発化するような体制づくりに努めます。
- 市内の文化団体の活動・交流支援を推進します。

1-②市民の活動状況の把握と情報提供

- 市民の文化芸術活動の状況を把握し、多様な情報提供の充実に努めます。

【具体的事業例】[実施主体・担当課]

＜実施継続している主な事業＞

- **塩田文化祭** [文化連盟（塩田公）]
市民の文化活動に関して日頃の練習の成果を発表する場を提供。保育園児たちのお遊戯や合奏、フラダンスや日舞などが披露のほか、書道や絵画、写真、菊花などの展示も開催。
- **嬉野文化祭** [文化連盟（嬉野公）]
市民が日頃の練習の成果を発表する場を提供。文化展：生花、手芸、書道、絵画、短歌、写真その他文化芸術作品の展示。菊花展：菊花会による菊の展示。音楽芸能祭：舞踊、ダンス、コーラス等ステージでの発表披露。
- **うれしの川柳大会** [嬉野市市民協働推進課]
川柳大会実施により嬉野市の情報発信及び川柳自体の市民への普及啓発を図る。嬉野にちなんだお題を決め、公募ガイドへの掲載及びHPによる募集を行い文化振興とともに観光振興を図る。
- **ふじまつり実施** [嬉野市市民協働推進課/うれしの男女ネットワーク]
市内女性団体や踊り、ダンスの団体や嬉野高校の嬉昇伝心太鼓や嬉野中学校プラスバンド部などの演奏を披露。新規団体の加入促進を目指し、文化振興・地域活性化など図る。
- **各地区地域コミュニティによる情報誌の発行** [市民協働推進課/市内七地区地域コミュニティ]
各種行事取り組み状況、地域郷土史など各種情報の発信、周知をはかる。
- **生涯学習まつり** [文化・スポーツ振興課]

＜今後検討する事業案＞

（例）茶道、陶芸、書、季節の花など、さまざまな分野と、興味でつながることが出来て、嬉野の文化や四季を感じることでできるイベントの実施。（大茶会など）

2. 本市独自の文化の継承・担い手の育成

～市民が嬉野独自の文化に誇りをもち、文化財や伝統文化を継承し、担い手が育つように～

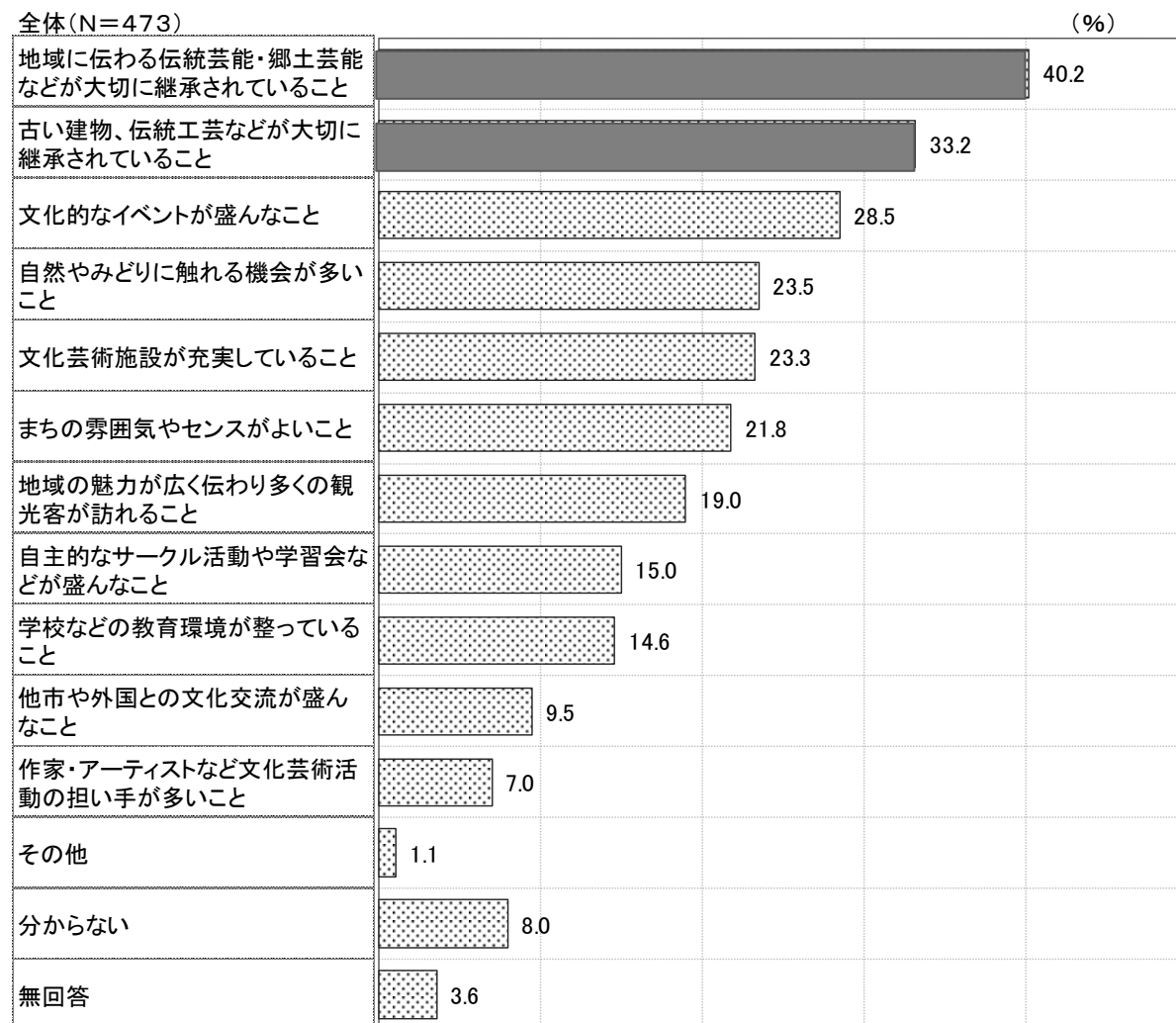
【現状・課題】

- ・市民、小中学生の市内文化財の認知度が低い傾向にある。市民が文化財を知ることが大切。市民への啓発・発信が必要。
- ・市内の文化財等について、案内や現地説明板等が不十分。
- ・観光案内にも利用できる文化財マップが必要。
- ・文化団体の活動資金不足。

●一般市民アンケートより

「文化的な環境」という言葉に対してどのようなイメージを持つか：

「地域に伝わる伝統芸能・郷土芸能などが大切に継承されていること」が40.2%と最多、次いで「古い建物、伝統工芸などが大切に継承されていること」が33.2%。



【基本的施策の方向性】

2-①文化財・伝統文化の保存・継承

- ・伝統文化・歴史遺産の適切な維持・保存に努めます。
- ・本市独自の文化活動と伝統文化・歴史遺産の周知・啓発をはかります。

2-②独自の文化・芸術の担い手育成

- ・本市独自の文化活動の支援を行い、後継者の育成に力を入れます。
- ・芸術家が継続的に活動できる環境づくりを進めます。

【具体的事業例】〔実施主体・担当課〕

＜実施継続している主な事業＞

- ・「伝統芸能を地域の方に知ってもらおう」〔市民協働推進課/五町田地区地域コミュニティ〕
地域のさまざまな伝統芸能を地区住民に紹介する。（地域内運動会において各地区の伝統芸能（鉦浮立など）を披露するなど）
- ・郷土料理の再現講習会〔市民協働推進課/轟・大野原地区地域コミュニティ〕
郷土料理を再現し、作り方やいわれを学んでもらい食文化継承とともに住民の交流活性化を図る。（若い住民の参加により、食文化の普及と地域の世代間交流の場となっている）
- ・鍋野手漉和紙創作展〔塩田職人組合〕
嬉野市塩田町の伝統産業「鍋野手漉和紙」の後継者の育成・普及を図るため、鍋野手漉和紙を活用した創作意欲にあふれた作品を広く公募し展示発表する。
- ・校区内史跡ガイド育成と歴史散策〔市民協働推進課/塩田原地区地域コミュニティ〕
専門家の説明を聞きながら塩田津など旧跡を巡り、歴史に対する知識を深める。
- ・町並み保存修理家屋の見学会〔町並み保存会〕
（平成25年度は修理工事物件4件、修景工事1件の事業が完了）
- ・塩田津町並み保存会〔塩田職人組合・嬉野市商工会〕
- ・嬉野市郷土史研究会〔嬉野市郷土史研究会〕
- ・市報うれしの「嬉野歴史探訪」（市内の史跡を毎月一つ紹介）〔塩田庁舎企画政策課〕

＜今後検討する事業案＞

（例）市民や専門家と協力して、文化財の見学会や嬉野の文化資源発掘を目的とした事業などを定期的に行う。それにより、文化財等の周知をはかり、市民に文化活動やまちづくりへの関心をもってもらうと同時に、文化活動のリーダー等人材の発掘につなげることができる。

（例）文化芸術の分野の新たな担い手の育成を目的に、新しい取り組みに対して支援、専門家のアドバイスなどにより、若者のチャレンジを応援する。

3. 子どもたちの文化創造活動の拡充

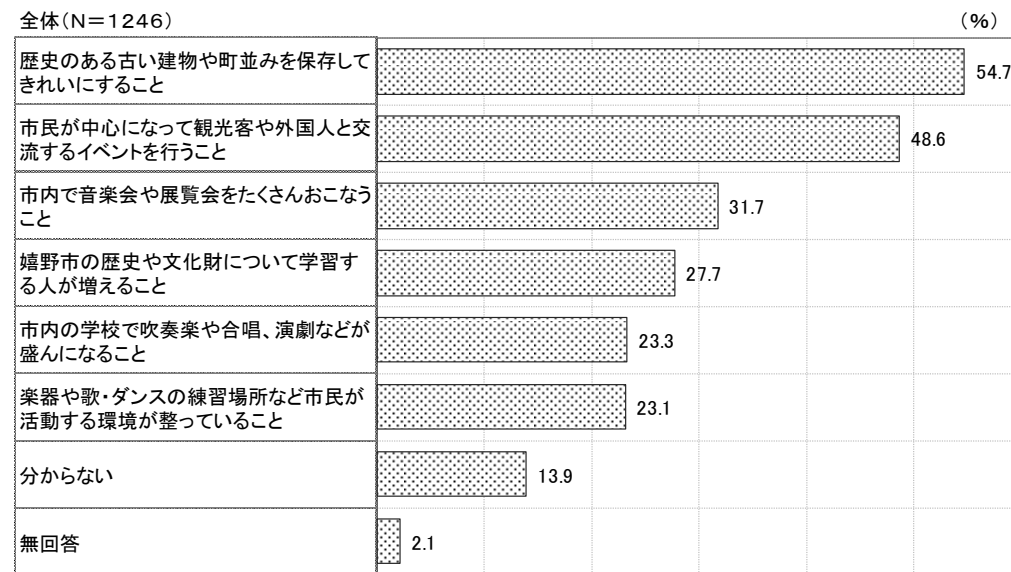
～地域、学校における文化活動や学びの場を通じて、子どもたちの創造力が育まれるように～

【現状・課題】

- ・小中学校で自分が住んでいる町にどんな文化財があるかを教える必要がある。
- ・子どもたちの興味は身近なものからはじまる。地元の歴史の読み聞かせなど子どもを対象とする活動に力をいれる。
- ・親が自ら芸術文化にふれていないと、子どもを連れて行かない。学校も一緒になって、劇やコンサートを市内で鑑賞できるようにしないと子どもたちにいきわたらない。
- ・地域の郷土芸能を大人と子どもたちが一緒に見て、伝えるなど、地域の人たちと子どもと一緒に活動することで、自分たちの町の歴史や文化を伝えていける。

●小中学生アンケートより

「嬉野市が「文化が盛んなまち」になるために、とくに大切だと思うこと」は：「歴史のある古い建物や町並みを保存してきれいにすること」が54.7%と最も多い。



【基本的施策の方向性】

3-①子どもたちの文化創造活動や学びの場の充実

- ・子どもたちが伝統文化や文化芸術に身近に触れる機会を増やします。
- ・学校の文化芸術活動を地域全体で支援します。

3-②子どもたちが地域文化とふれる機会の充実

- ・親子で文化体験活動に参加する機会を充実させます。
- ・地域のコミュニティにおいて、多世代との交流を通じ、子どもたちが、地域の文化について学んだりふれたりする機会を充実させます。

【具体的事業例】〔実施主体・担当課〕

＜実施継続している主な事業＞

- ・**子ども文化祭**〔文化・スポーツ振興課〕
学校以外での習い事をする子ども達の発表の場を提供。太鼓、空手、ダンス、バトン、ピアノ、日本舞踊などの団体が、練習の成果を披露する。
- ・**地域のお宝スケッチ大会**〔市民協働推進課/大草野地区地域コミュニティ/大草野小学校〕
地域の自然や歴史遺産、名所旧跡などを地域の子供たちがお宝として感じた風景などをスケッチする。優秀作品を地域内の施設に展示する。
- ・**大草野小唄・蛸橋小唄の復活・伝承事業**〔市民協働推進課/大草野地区地域コミュニティ/大草野小学校〕
大草野地区で歌い継がれていた唄を復活させ、コミュニティ活動の一環として保存会を立ち上げ、地域住民に広め、伝承していく。
- ・**美術・芸術体験支援**〔市民協働推進課/久間地区地域コミュニティ/久間小学校〕
子どもたちに本物の美術・芸術を鑑賞してもらうことにより豊かな心を育む。平成26年度はプロのフォークデュオを招聘。
- ・**夢づくり支援事業**〔青少年育成市民会議〕
小中学生にやってみたい、体験したい夢を募集し、実現させることで体験をとおした健全育成を図る。
- ・**コウソの収穫作業体験研修**〔鍋野手漉和紙保存会〕
塩田町の伝統産業手漉和紙の原料「コウソ」の収穫・蒸し・皮はがしなどを小学生に体験してもらう。
- ・**塩田町親子スケッチ大会**〔文化連盟塩田支部〕
塩田地区の小中学生を対象にスケッチ大会を開催し、入賞作品を展示し多くの人が観覧できるよう公開する。

＜今後検討する事業案＞

（例）親子で参加できる文化体験活動を行う。または事業の支援を行う。子どもたちに豊富な文化活動の体験機会を与えるには、まずは親に理解や関心を高めてもらうことが必要である。

4. 市民が文化芸術にふれる機会の充実

～文化活動の拠点施設の事業の充実により、文化・芸術とのふれあいがあるまちへ～

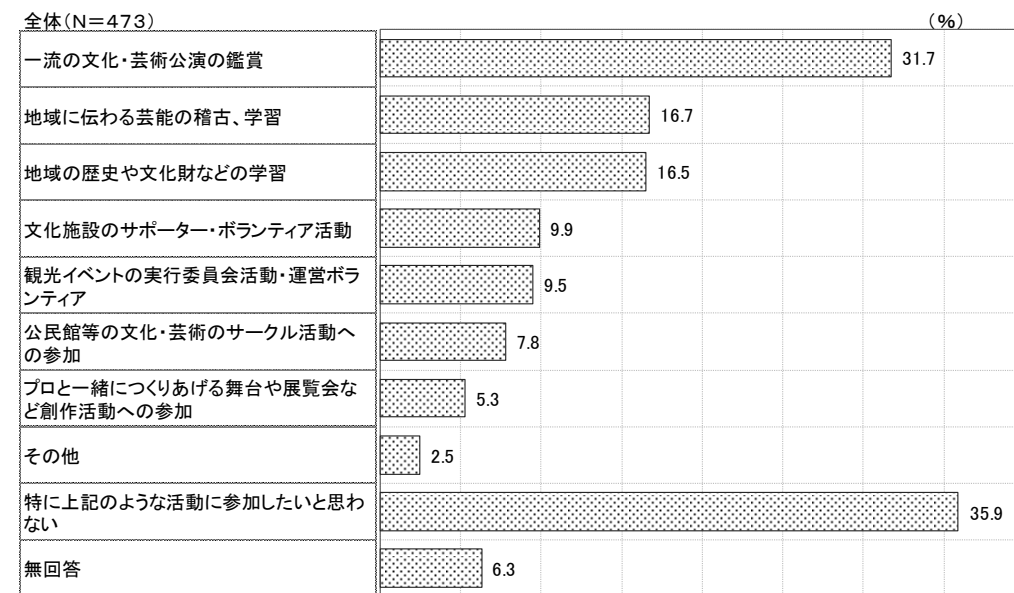
【現状・課題】

- ・高齢で交通手段が無いいため、見に行けない人がいる。送迎シャトルバス、定期的な巡回バスなどの交通の配慮がほしい。
- ・嬉野市社会文化会館で年間に何が行われているのかよくわからない。
- ・練習ができる施設が充実していないうえに、その使用料が高い。
- ・活動にあった施設、体験者を受け入れるための施設が不備。
- ・映画施設がない。

●一般市民アンケートより

「今後参加したいと思う文化・芸術活動」は：

「一流の文化・芸術公演の鑑賞」が最多、次が「地域に伝わる芸能の稽古、学習」



【具体的事業例】[実施主体・担当課]

＜実施継続している主な事業＞

- ・各文化振興事業 [文化・スポーツ振興課/嬉野市文化振興事業実行委員会]
市民の文化・芸術に対する意識向上と、文化の香り高い嬉野市を目指すため、各種文化振興事業（音楽コンサート・落語会など）をリバティ文化ホールで開催。また学校等の市内各施設へのアウトリーチを実施。

＜今後検討する事業案＞

（例）嬉野市社会文化会館における鑑賞事業を充実させる。また、鑑賞事業を企画する際には、関連する参加体験型事業を企画したり、出演者と交流する機会を設けるようにする。

（例）市内公共施設において、各種文化講座やワークショップ事業を充実させる。

※公立文化施設には、サークル活動や生涯学習の拠点、地域のお祭りやイベントの開催による賑わい創造、災害時の避難場所・防災拠点としての役割もある。最近ではカフェやショップを併設して住民の憩いの場としても親しまれている施設もある。また、施設運営を支援するボランティアを組織している施設も多く、行政・住民間の協働も生まれている。

【基本的施策の方向性】

4-①嬉野市社会文化会館多様なジャンルの鑑賞機会の充実

- ・多様な文化・芸術の鑑賞機会を提供します。
- ・嬉野市社会文化会館における市内公共施設において、各種講座やワークショップ事業の充実をはかります。

4-②体験や参加、参画機会の充実

- ・既存の文化施設を活用し、新たな活動の場の拡大に取り組み、あらゆる人が多様な文化芸術を気軽に楽しめる環境づくりに努めます。
- ・文化ボランティアなど、文化芸術を担う人材の育成を促進します。

5. 文化資源を活かした地域魅力の創造・発信

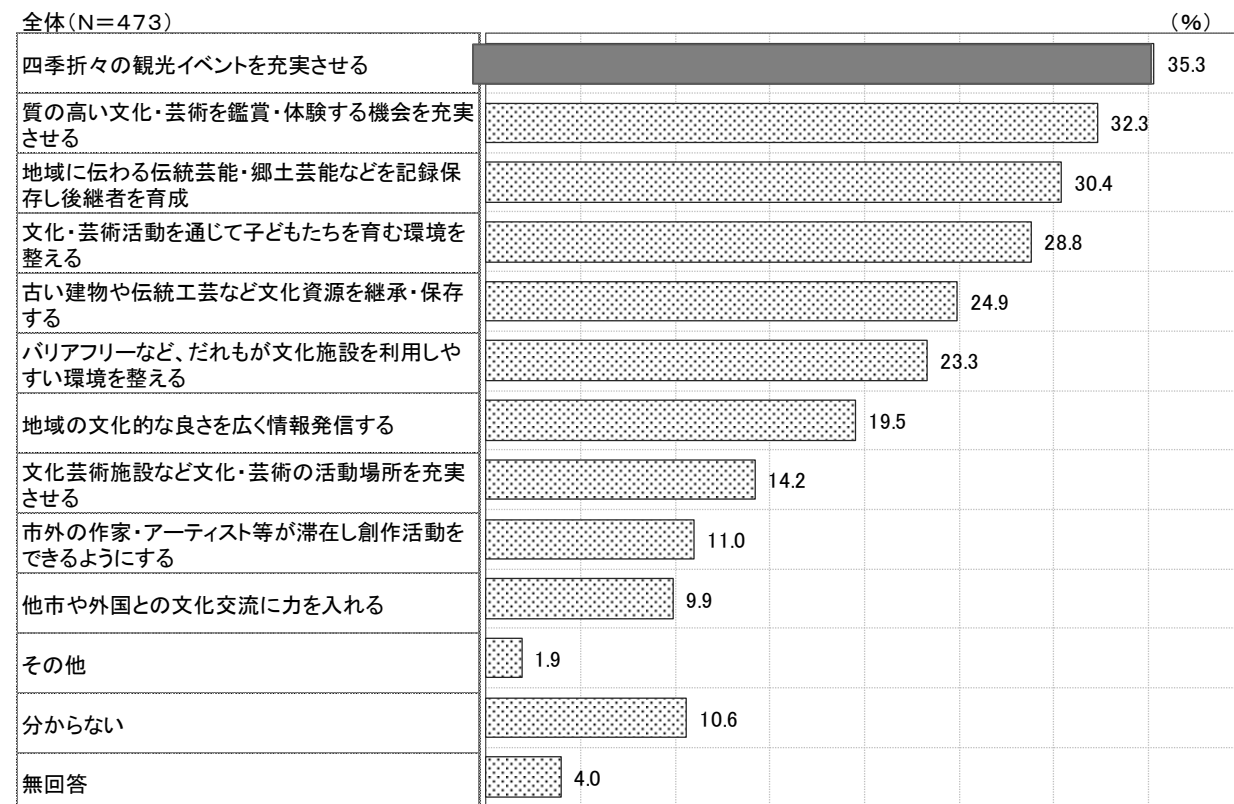
～観光・産業と連動した文化交流活動が地域の魅力を磨き、発信するまちへ～

【現状・課題】

- ・ 温泉以外で観光客が過ごせる仕組みが少ない。
- ・ 素晴らしい文化観光資源がありながら発信力、アピールにかけている。旅館組合と連携で文化事業と温泉を楽しめるなど、企画とアピール次第では県外からも人が呼べるのではないか。
- ・ 観光客が見学できる美術館、歴史資料館、文化的施設の充実したパンフレットが必要。
- ・ お茶の資料館など、観光客にも魅力ある内容（展示体験）でアピールする施設の整備が必要。
- ・ 商店街の活性化、商店街の空き店舗対策（若者向けトライアルショップ、県内外への利用者募集など工夫する取り組みがあればよい）
- ・ 嬉野の文化や魅力を海外や他県に発信できるスタッフの育成が必要。
- ・ 新しいモノを模索する意欲に欠けている。
- ・ 昔のままではマンネリ化して、楽しさを感じられず、若者の関心もなくなってしまう。
- ・ もっと若者が参加できる形の物を取り入れてほしい。

●一般市民アンケートより

「嬉野市の文化・芸術分野の活動を活発にするために必要だと思うこと」は：
「四季折々の観光イベントを充実させる」が35.3%で最多。



【基本的施策の方向性】

5-①文化資源を活用した嬉野の魅力発信

- ・ 市民が主体となり、市内文化資源の再確認を行い、そのプロセスを通じて地域魅力の共有をはかります。

5-②文化イベント等を通じた観光、国際交流

- ・ 市内の文化資源を活用した文化イベント等を促進し、観光と交流のさらなる発展を目指します。
- ・ 地域魅力を活かした国際交流を推進します。

【具体的事業例】[実施主体・担当課]

<実施継続している主な事業>

- ・ **うれしの茶ミット** [うれしの茶振興課/うれしの茶ミット実行委員会]
うれしの茶をテーマにして、お茶摘み体験、小学生参加のうれしの茶GP、嬉野高校の太鼓やダンスを開催。
- ・ **和泉式部の里嬉野短歌大会** [嬉野市文化・スポーツ振興課]
和泉式部が幼少期に過ごしたとされる伝承にちなみ、短歌の募集を全国へ情報発信する。応募作品から和泉式部賞ほか入賞者を選考し表彰式を開催する。
- ・ **佐賀・嬉野温泉「うれしのあったかまつり」『うれしの百人一句応募』** [嬉野温泉観光協会]
全国より俳句が公募され入選句は、期間中嬉野温泉中心街本通り筋に設置される灯籠、ひとつひとつに展示される。
- ・ **肥前吉田焼おやまさん陶器まつり** [肥前吉田焼窯元会館]
吉田に窯業を築いた鍋島直澄公にちなんだ陶器市を開催することにより、吉田焼の発展と振興を図る。体験として絵付けグランプリを開催。
- ・ **志田焼の里博物館 春まつり、秋まつり** [志田焼の里博物館]
志田焼のロクロ体験・絵付け体験・手捻り体験をはじめ、地元農産物の販売やピザ焼体験など多様なイベントを開催。地域の焼き物を広く知ってもらい産業の振興をはかる。他県や海外からの来訪もある。

<今後検討する事業案>

(例) 市民が参画し、「うれしもの宝探しワークショップ」など、地域の魅力の再確認を目的にした事業を行う。また、そのプロセスで多くの市民に地域魅力を知ってもらい、関心をもってもらう。

(例) 地域独自の文化資源や文化事業を、効果的・積極的にアピールする。

6. 文化振興のための仕組み・連携の強化

～文化の力で人や地域がつながり、地域や世代を超えて様々な交流が生まれるまちへ～

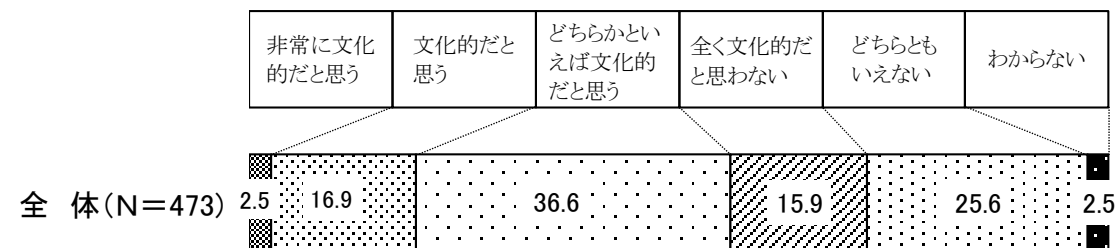
【現状・課題】

- ・市民が気軽に参加、協力・交流できる企画運営の発信が必要。
- ・障害者でも気軽に参加できる催しもの、気軽に参加できる環境の増加。
- ・子どもから高齢者まで幅広い層が参加しやすい文化活動。
- ・市内でも旧嬉野町と旧塩田町ではお互いの活動をよく知らない。各地区の地域コミュニティ活動と連携が必要。
- ・イベントなど他の文化団体との連携が必要。

●一般市民アンケートより

「嬉野市が文化的な環境だと思うか」は：

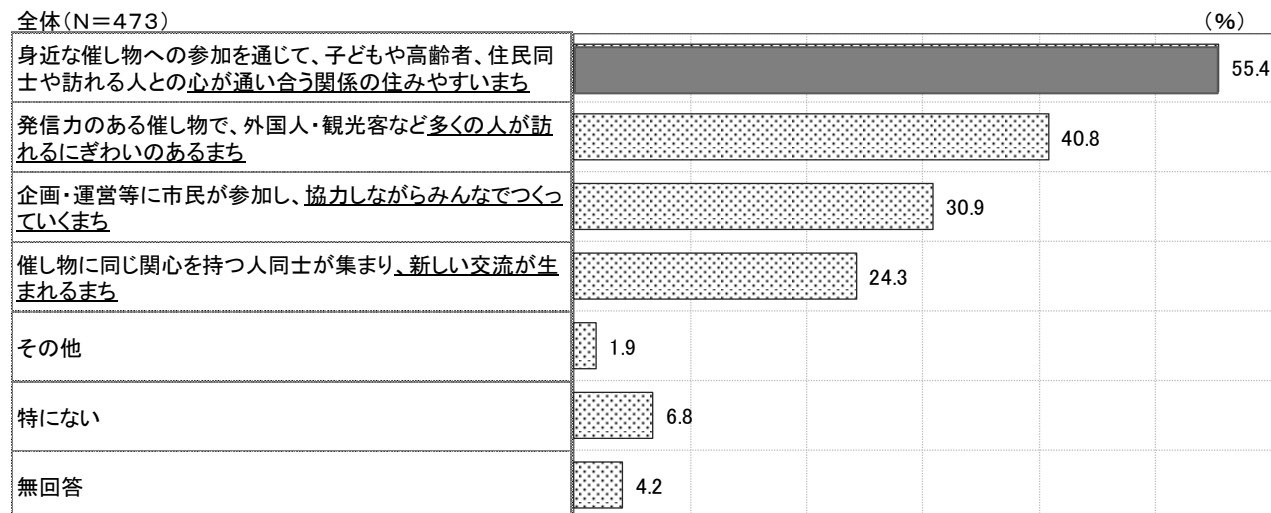
「どちらかといえば文化的だと思う」が36.6%と最多、「文化的だと思う」との合計は56.0%。



●一般市民アンケートより

「嬉野市が催し物を行うことで、どのようなまちになってほしいと思うか」は：

「身近な催し物への参加を通じて、子どもや高齢者、住民同士や訪れる人との心が通い合う関係の住みやすいまち」が55.4%と最多。



【基本的施策の方向性】

6-①コミュニティを核とした連携と交流機会の充実

- ・文化芸術活動を通して、市民の交流の場を広げ、相互理解や連携を促進します。
- ・企業や学校との交流や、近隣自治体との連携を促進し、それぞれのもつ資源や知識を文化芸術振興に活かします。

6-②様々な分野や人材をつなぐ取り組みの推進

- ・福祉や教育分野などと連携し、アウトリーチ事業などを通じて、日頃文化芸術にふれる機会の少ない人へアプローチします。
- ・様々な取り組みを通じて、文化のまちづくりの担い手を発掘、育成します。

【具体的事業例】〔実施主体・担当課〕

＜実施継続している主な事業＞

- ・「湯らっくすコンサート」〔佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター〕
障がい者もアマチュアもプロの演奏家も同じステージに立ち、ユニバーサルデザイン思想の普及と芸術・文化の振興を図る。市内3カ所でのプレコンサートとメインコンサートを開催し、フィナーレはすべての演奏者がコラボしたステージを展開。
- ・子ども夢会議・コンサート〔市民協働推進課/吉田地区地域コミュニティ〕
子どもや保護者、地域住民たちがプロの音楽に触れることにより交流の活性化などを図るため、子育て中のプロシンガー等を招き、命や人権等をテーマにトーク&コンサートを実施。
- ・地域活性化促進〔市民協働推進課/塩田地区地域コミュニティ〕
郷土の伝統芸能、お祭り、地域行事等に積極的に参加し、その継承及び継続を図るための支援をコミュニティをあげて行う。

＜今後検討する事業案＞

- （例）国内外で活躍するアーティストを招き、年齢・国籍などの違う市民の参加する創作ワークショップを行う。また創り上げた作品を舞台上で演じたり、展示を行うなど、成果の発表の場を設ける。
- （例）福祉施設や高齢者施設でのアウトリーチ活動^(※)を積極的に行う。
- （例）市内の芸術家や市外から嬉野市に移り住む芸術家が継続的に活動できる環境づくりを行う。豊かな文化・芸術や歴史など文化的な資源に憧れて、アーティストが外から移り住み、さらにまた新しい文化を発信していくような仕組みを目指す。

※アウトリーチとは、アーティストを学校や福祉施設などに派遣し、ミニコンサートや参加体験事業などを行う館外活動のこと。ふだん文化芸術に接していない層にその楽しさを提供し、新しい鑑賞者の掘り起こすことなどを目的に行われる。